



知事「寿都町は」 隣接3町村長は反対



記者団の質問に答える鈴木知事

【厚別】鈴木知事は18日、原発から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分場選定に向け、後志管内寿都町が文獻調査の応募を9月中旬に判断することについて、「1カ月程度で判断するのは拙速だ」と強くけん制した。また、財政難の市町村に20億円の交付金を提示して文獻調査の候補を募る国の手法には「頼れず、自主的にやり方を」と批判した。(5面)市民団体が反対声明

「頼れず」頼れずでたたく

【厚別】鈴木知事は18日、原発から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分場選定に向け、後志管内寿都町が文獻調査の応募を9月中旬に判断することについて、「1カ月程度で判断するのは拙速だ」と強くけん制した。また、財政難の市町村に20億円の交付金を提示して文獻調査の候補を募る国の手法には「頼れず、自主的にやり方を」と批判した。(5面)市民団体が反対声明

知事「寿都町は拙速」 核ごみ調査国の手法も批判

【厚別】鈴木知事は18日、原発から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分場選定に向け、後志管内寿都町が文獻調査の応募を9月中旬に判断することについて、「1カ月程度で判断するのは拙速だ」と強くけん制した。また、財政難の市町村に20億円の交付金を提示して文獻調査の候補を募る国の手法には「頼れず、自主的にやり方を」と批判した。(5面)市民団体が反対声明



黒松内町、寿都町、島牧村、黒松内町役場

【黒松内】原発から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分場選定の文獻調査への応募を検討している後志管内寿都町に隣接する同管内の黒松内町、島牧村の3町村長は18日、黒松内町役場で緊急会議を開き、調査応募に反対することで一致した。3町村長は8月中旬をめ

【黒松内】原発から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分場選定の文獻調査への応募を検討している後志管内寿都町に隣接する同管内の黒松内町、島牧村の3町村長は18日、黒松内町役場で緊急会議を開き、調査応募に反対することで一致した。3町村長は8月中旬をめ

隣接3町村長「反対」 情報提供など申し入れへ

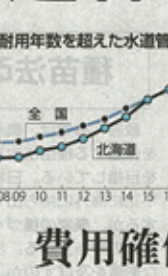
【黒松内】原発から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分場選定の文獻調査への応募を検討している後志管内寿都町に隣接する同管内の黒松内町、島牧村の3町村長は18日、黒松内町役場で緊急会議を開き、調査応募に反対することで一致した。3町村長は8月中旬をめ

【黒松内】原発から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分場選定の文獻調査への応募を検討している後志管内寿都町に隣接する同管内の黒松内町、島牧村の3町村長は18日、黒松内町役場で緊急会議を開き、調査応募に反対することで一致した。3町村長は8月中旬をめ

【黒松内】原発から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分場選定の文獻調査への応募を検討している後志管内寿都町に隣接する同管内の黒松内町、島牧村の3町村長は18日、黒松内町役場で緊急会議を開き、調査応募に反対することで一致した。3町村長は8月中旬をめ

道内水道管 更新進まず

Table with 2 columns: 水道管の経年比率 (2017年度) and 総延長 (km). Lists municipalities like Sorachi, Sorachi, Sorachi, etc.



道内の水道管の総延長約3万6千キロメートル(2017年度)のうち、法定耐用年数の40年を超えるものが17%に達する。10年間で4倍に増えた。道内の水道管の更新率は0.7%で、過去10年間もほとんど停滞し、更新が進んでいない状況だ。

【厚別】道内の水道管の総延長約3万6千キロメートル(2017年度)のうち、法定耐用年数の40年を超えるものが17%に達する。10年間で4倍に増えた。道内の水道管の更新率は0.7%で、過去10年間もほとんど停滞し、更新が進んでいない状況だ。

費用確保へ料金値上げも 道は「個別負担を付けて新すべし」とした。一方、業者は「共同購入でできる」と主張している。

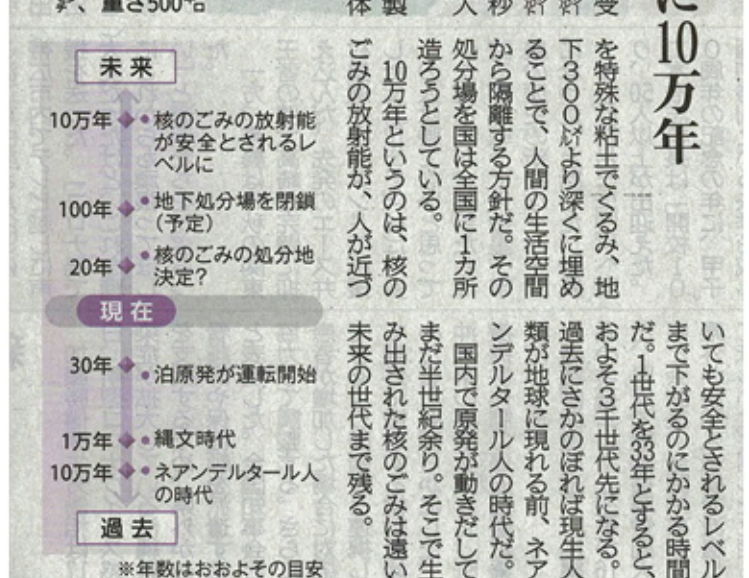
費用確保へ料金値上げも 道は「個別負担を付けて新すべし」とした。一方、業者は「共同購入でできる」と主張している。

核のごみ 後志管内寿都町が処分候補地への応募を検討する高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分場選定に向け、後志管内寿都町が文獻調査の応募を9月中旬に判断することについて、「1カ月程度で判断するのは拙速だ」と強くけん制した。



宗谷管内幌延町に展示されている核のごみの模型。中央のガラス固化体は高さ130センチ、直径45センチ、重さ500キログラム。

強い放射能 処分10万年 人が自然の放射線以外に受ける放射能を年間1ミリシーベルト以下に抑える。15000年かけて150万倍に増える。20秒から隔離する方針だ。その処分場を国は全国に1カ所を造ろうとしている。



道内の水道管の総延長約3万6千キロメートル(2017年度)のうち、法定耐用年数の40年を超えるものが17%に達する。10年間で4倍に増えた。道内の水道管の更新率は0.7%で、過去10年間もほとんど停滞し、更新が進んでいない状況だ。